

こんぶくろ池通信

NPO 法人こんぶくろ池自然の森
Tel: 04-7132-8800
Fax: 04-7132-8806
Email: info@konbukuroike.com
URL: http://www.konbukuroike.com

2026年6月

第146号

主な予定

6月9日(火)

13:00~13:30

藤心小学校

6月11日(木)

増尾西小学校

6月12日(金)

9:00~9:30

松葉第一小学校

6月17日(水)

10:20~11:30

富勢小学校

6月26日(金)

11:00~11:40

手賀東小学校

6月26日(金)

13:10~14:00

大津ヶ丘第二小学校

3月29日(日) こんぶくろ池保全活動報告会より

来園者がスズメバチ被害にあわないための取り組み

はじめに スズメバチはこんぶくろ池自然博物公園の生態系を構成する重要な一員であり、園内で環境省レッドリスト記載種モンズメバチ[情報不足 (DD)]の生息も確認している。一方で、スズメバチに刺激を与える行為を行った場合は人が刺される可能性が否めない。来園者や会員の安全と、自然公園としての生物多様性維持の両方の観点から検討を重ね、2023年9月理事会においてスズメバチへの対応ルールとフローチャートを作成し、それまで使用していたポスターにSDGsの目標15「陸の豊かさを守ろう」のアイコンを付記した。

スズメバチは開けた園路沿いに営巣するケースがよくある。2024年の春期に柏市内の小学3年生の校外学習を受け入れた際、虫に刺されたと告げた生徒が複数人出た。いずれもスズメバチによるものか原因は不明だが、園路沿いではスズメバチに営巣させないための対応策を検討し、2024年6月29日から実施した。2025年度は春期の小学3年生校外学習の受け入れを含め、来園者がスズメバチの被害にあったとの報告は聞かれていない。引き続き、園路沿いでのスズメバチ営巣対策を実施している。

園路沿いにある営巣懸念木のほとんどがスギである。

方法

1. 次の条件を満たす場合、園路沿いのスズメバチ営巣懸念箇所として抽出した

- ① 園路、または観察会での観察予定地から10m以内にある。
- ② 入口が狭く奥が深いウロがあり、キイロスズメバチやモンズメバチなどが初期の巣を作る可能性がある。ウロは幹の途中だけでなく根本付近にもあり、生木だけでなく倒木や丸太にもある。
- ③ 木の根元、倒木の幹の下や根元、丸太の下などに、オオスズメバチが穴を掘りこんで営巣しそうな土が柔らかな箇所がある。

2. 園路沿いの営巣懸念箇所への対応

- ・ 営巣懸念木には白色テープを巻き、確認した日付を記す。

- ・ 上記②のウロを塞ぐ：防虫ネット（1mm目合）を詰めてウロを埋める（図3）。

※ネットで幹を巻く処置は原則として今後行わない。2024年に、3本の懸念木でウロの出口を囲むように防虫ネットで幹を巻いたところ、ネット内で幹の表面が不健全になりウロの増加も懸念されたので、2026年2月21日にネットを外し、ウロを直接塞いだ（図4）。

- ・ 上記③の地面の穴や、土が柔らかな箇所を土をかけ踏み固める（図5）。動かせる倒木や丸太は、園路から10m以上離れた場所に移動する。
- ・ 園路から10m以内の林内および草地内に、落枝、倒木、丸太などを放置しない。

2026年度のための園路沿いでのスズメバチ営巣対策

実施済み（2026年2月15日、21日）

- ・ 昨年度までに抽出した営巣懸念木の確認と、ウロ塞ぎ、根元への土かけの補強。
- ・ 新規営巣懸念木の抽出5本。1本は対応済み。4本は倒木（ナラ枯れ被害木3本 ヤマザクラ1本）。

今後の作業予定（4月末頃までに終了予定）

- ・ 倒木4本（ナラ枯れ被害木3本,ヤマザクラ1本）の空洞や地面の穴を土などで埋める。



図3：奥が深いウロを塞ぐ



図4：ネットを外しウロを塞いだ



図5 周囲の土を採取し根元の穴を塞ぐ

- 18世紀までの航路
- 江戸時代から明治にかけての船運路
- 利根運河開通後の船運路

て利根川を関宿まで上り、その後江戸川を下って江戸に運ぶようになりました。

しかし、このルートも関宿付近が通行の難所となっていました。このため、利根川の途中で、積み荷をいったん舟から降ろし、馬を使って陸路で運び、再び江戸川から舟に乗せて運ぶようになりました。しかし、この方法は荷物の積み替えなどに手間がかかり、時間もかかるうえ費用も割高でした。

そのため、北海道や東北の生産物を大量に早く東京へと届けるために、利根川～江戸川間（全長 8.5Km）を結ぶ運河が計画されました。国は財政難であったので民間で資金を集め、オランダ人の土木技師ムルデルの指導の下に、1890年（明治23年）利根運河が完成しました。

完成までに要した年月は1年10か月、明治時代は人力主体の工事ですので、まさに人海戦術（約3,300人/日）によるものです。このエネルギーはどこから来ているのでしょうか。

利根運河の開通によって、航路は約40km短くなり、3日かかっていた日数がわずか1日で済むようになり、多くの船が運河を往来しました。しかし、鉄道の進出により舟運が衰退し、1941年の台風による洪水で利根運河は壊滅的な被害を受け、航路としての役目を終え、利根川の洪水時の水を吸収する遊水池的な役割を担うということで国有化されました。

戦後しばらくの間、運河自体の通水は止められていました。しかし、昭和40（1965）年代に東京などの水不足解消対策として利根川の水を江戸川に流す北千葉導水路が計画されました。この北千葉導水路完成までの暫定策として、1975年に利根川の水が利根運河に34年ぶりに流されました。

2000年、北千葉導水路の完成に伴い、利根運河は利根川の洪水を江戸川へ放流する洪水調整水路の役割に特化することになりました。ただし、洪水調整水路と言っても利根川の平水が時々、運河に注水され一年を通して空堀になることはありません。遊歩道や運河水辺公園も整備され、自然散策など人々の憩いの場になっています。

利根運河は、当初の運河の役割は終えましたが、時代の要請に応じた役割を果たしてきました。水の流れを眺めて数奇な運命を辿った利根運河に思いを馳せるのも一興です。

利根運河は2006年には土木学会が「選奨土木遺産」に、2007年には経済産業省が「近代化産業遺産」に、2018年には千葉県が「ちば文化資産」に認定しています。

また、2019年には、「歴史の道百選」（文化庁選定）に選ばれています。



江戸に物資を運ぶ航路
(利根運河交流館所蔵資料より)



運河を航行する銚子丸
(流山市立博物館提供、個人所蔵)



ムルデルの碑



運河水門



利根運河



運河水辺公園

土木學會選奨土木遺産
認定プレート

令和八年春季こんぶくろ池句会・歌会作品集

世話人 松田 和生

俳句の部

ハルジオン花びら抜けて丸坊主
行く春やクローゼットのセーラー服
AIに慰められて春立てり
鯉のぼり見ることもなく5日過ぐ
かしわ餅今年是小粒になりにけり
ヒナ4羽母に甘えるコブハクチョウ
伯耆田のお墓に合掌穀雨風
ひこばえに生命漲るヤマザクラ
陽の青色フデリンドウへ集まれり
百年目姫の目覚めにバラ幾重
酷暑来る前のひと時バラ香る
柔らかかに春を告げたりネコヤナギ

あおはもゆ
あおはもゆ
あおはもゆ
中川 望
中川 望
中川 望
ノー・ボール
秀夫
まさえ
吉川億空
吉川億空
わらしべ

短歌の部

栗の花白一色に咲き誇り
森の奥まで明るく照らす
声高に自然の森はわが森と
朝日を待たず鶯の鳴く
ツグミ去り寂しき胸に野道行く
冬よ早よ来いツグミを連れて
電線に並んで留まるツバメ2羽
何のお話しているのかな
水枯れる池にも春がやっと来た
命つなげよメダカよメダカ
草芽吹き鳥が囀り子らはしゃぐ
スマレ花咲く公園の春
横浜も都内柏も一時に
初虹生じてLINE 彩る
自然の森の一面にひっそりと
咲く水仙の姿愛しき

いもり
Q太郎
中川 望
中川 望
ノー・ボール
秀夫
まさえ
わらしべ

あとがき

この春に NPO 法人こんぶくろ池自然の森の総会があり、去年に続き会員が増加しているとの報告がありました。自然の森への関心が高まっている査証であり喜ばしい限りです。

このように森に関心を持ち森を大切に作る仲間新たに 1 名が加わり延べ 10 名の方から作者それぞれの持ち味を生かしたオリジナリティとリアリティが光る俳句十二句、短歌八首が寄せられました。

自分はそんな柄じゃないと思っている読者がおられるかもしれませんが、実は作者の皆さんは、全員が全くの素人から始めています。未投稿の読者のみなさんもここで思い切って俳句・短歌の道へ一歩踏みだしてみませんか。きっと新たな世界が開かれることでしょう。

今回は夏季（令和 7 年 6 月～令和 7 年 8 月）になりますが、思い立ったが吉日、事務所前の投稿箱の他、世話人あてのメールやメモでも結構ですので応募をお持ちしています。

新入会員紹介 佐藤 ちひろさん



参加動機：地域の生態系と人の営みに興味があり参加しました。メンバーの方々が優しかったので、一緒にやりたいなと思いました！

趣味・好きなこと：旅行、園芸、ミミズ

貢献できそうなこと：公園整備、調査（動植物、鳥など）、広報、ワークショップ

取り組んでみたいこと・分野：水の循環、植物、手入れの仕方などたくさん学びたいです。市やデベロッパとの対話も興味があります。

ひとこと：柏市出身で、こんぶくろ池は小学校の頃から知っています。このように守っている NPO さんと出会えてうれしいです！